

☆気になる一品…ネオ昭和の兼続だるまの巻

今年のNHK大河ドラマは「天地人」。お隣の南魚沼市で生まれた直江兼続という戦国武将が主人公で、乱世にありながら義と愛を貫き通す姿を描く。軍師として上杉景勝公に仕え、魚沼から上越、与板、会津若松、そして米沢と活躍を続けることになる。一年間たのしみだ。

その兼続が上杉家の経済を支えるために栽培を奨励したのが「からむし」=青苧(あおそ)である。

ネオ昭和(十日町市、村山好明社長)は、からむしを使った繊維製品を企画販売する会社で、自然素材としてのからむしの特性を活かして衣類や寝具など製造している。

かつて十日町織物業界に籍を置いた村山社長は、旺盛な好奇心から全国各地を回り「からむし」製品の普及に努めている。

今回、「天地人」にちなんだ特製だるまを



発売するに至った。群馬県の高崎だるま職人、岡田登志光さんが仕上げを担当する。

兼続は兜の前立てに「愛」の一文字を付けていた。上杉謙信公の精神を受け継ぎ、正義の政治を貫こうとしたのだという。だるまは、その「愛」を胸に、「寿」を頭に付けている。

そして背中には「上杉景勝」「直江兼続」が並ぶ。

村山社長は「愛と義で、今年一年の家内安全、商売繁盛につなげられれば」と開発理由を語る。

価格は大(39cm)8400円、中(30cm)6300円、小(16cm)2625円。

お求めは同社か、本紙発行元のみらい印刷にも見本が置いてある。受注生産のため、約一週間待って受け取ることが多いという。

有限会社ネオ昭和

十日町市伊達甲236 TEL750-2857

<http://www.karamushi.jp/>